

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学特論 I (危機とストレス)	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐			
授業概要	突然の出来事や衝撃的な体験により、ストレスや危機的状況に陥る対象者やその家族の反応や立ち直っていくプロセスを理解し、援助の方法を探索する。			
到達目標	1. 危機的状況にある対象者及びその家族について、理論を用いて説明することができる。 2. 危機的状況にある対象者やその家族に必要な諸理論を理解し、理論を用いて援助することができる。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	ストレス理論/自尊感情/レジリエンス	松本	
	3-4	危機理論	松本	
	5-6	悲嘆/グリーフワーク	松本	
	7-8	病みの軌跡	松本	
	9-10	自己概念とボディイメージ	中島	
	11-12	自己効力感	松本	
	13	クリティカルケア状況下にある患者とその家族へ理論を活用した事例	松本・中島・路	
	14-15	課題：第1-13回で学んだ知識を活用し、危機的状況の中にいる対象者及びその家族への介入事例を用い、自己の看護について考察する	松本・中島・路	
教科書	特に指定しない。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・小島操子(2018)：看護における危機理論・危機介入改正4版フィンク/コーン/アグィレラ/ムース/家族の危機モデルから学ぶ、金芳堂 ・J. W. Worden/山本力監訳(2015)A Handbook for Mental Health Practitioner. 4th/臨床実践ハンドブック悲嘆カウンセリング、誠信書房 ・Barbara Resnick/任和子翻訳(2020)Practice of Geriatric Nursing to Enhance Self-Efficacy and Resilience/自己効力感とレジリエンスを高める看護の実践、学研 ・Ilene Morof Lubkin/黒江ゆり子監訳(2007)Chronic Illness Impact and Interventions、クロニクイルネス 人と病いの新たななかかわり、医学書院 ・Pierre Woog/黒江ゆり子監訳(1995)：THE CHRONIC ILLNESS TRAJECTORY FRAMEWORK/慢性疾患の病みの奇跡、医学書院 			
評価方法・基準	討議への参加度(60%)、レポート(40%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習：事前に提示された資料を読んてくること。 事後学習：疑問点を整理し、関連した文献等を調べ、理解を深めること。			
備考	特になし			